

産業建設委員会記録

令和6年12月2日(月)
11時06分～11時51分
全員協議会室

【委員】川上委員長、田畑副委員長

村木委員、大谷委員、小川委員、佐々木委員、牛尾委員

【執行部】

(産業経済部) 佐々木産業経済部長、久佐産業経済部参事、大屋商工労働課長

(都市建設部) 倉本都市建設部長、中谷建設企画課長

【事務局】 大下書記

議 題

1 所管事務調査事項について

所管事務調査

- (1) 熊の出没、被害状況について
- (2) 除雪体制について

2 12月12日(木)の委員会審査日程等について

3 その他

【要望書】

- ・「主要地方道浜田美都線全線2車線化の促進方についての要望について」
(委員会に配付)

4 ぎかいポストに寄せられた意見等への対応協議について(委員間で協議)

5 はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて(委員間で協議)

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[11 時 06 分 開議]

○川上委員長

ただいまから産業建設委員会を開会する。本日出席委員は7名で定足数に達している。それでは手元のレジュメに沿って進めていく。

1 所管事務調査事項について

○川上委員長

12月12日木曜日に開催する当委員会における所管事務調査について、委員から要望を伺いたい。委員から資料や説明等を求める必要のある調査事項があれば申し出てもらいたい。

○田畑副委員長

空き家バンクの状況を3年から5年くらい調べてほしい。浜田市は空き家バンクに対して助成金は出しているが上限を設けてなかったように思う。融資や支援をしてもらったら3年か5年は入居者を確保するという条例を設ける市町村があるが、浜田の場合はどうなっているか確認したい。

○川上委員長

田畑副委員長から空き家バンクの状況について要望があった。

○牛尾委員

空き家バンクは総務文教委員会の所管になる。

○田畑副委員長

失礼した。

○川上委員長

ではこれについては総務文教委員会に少し話をさせていただく。ほかにあるか。

○佐々木委員

今年の春にクマの出没や被害状況を伺い、今年は非常に多いし秋が危惧されるとの話だった。浜田市の秋季の出没と被害状況について出せる範囲でお願いしたい。

○川上委員長

その件、できれば2、3年分のデータも出して様子を比較したいのだがいかがか。

○産業経済部参事

準備して提出する。

○川上委員長

ほかの委員も、このことに関して依頼してもよろしいか。

(「はい」という声あり)

では、ぜひとも委員会として要求する。

○産業経済部参事

年度は3年くらいで良いか。

○川上委員長

3年で良いだろう。特にこの3年くらいが増えていると思う。ほかに何かあるか。

○大谷委員

この冬に向けての報道によると、暖かいがドカ雪になる可能性が指摘されている。ついては除雪体制がどうなっているか、対応できるか、特に土建業者の方々の仕事量が減ってきている状況の中、オペレーターや大型機械などもろもろが対応できるかについて確認してみたい。

○川上委員長

この件については当委員会の代表質問に入れている。加えてこのような形で皆から要望をいただき、執行部から報告いただくということではよろしいか。

(「はい」という声あり)

大谷委員から除雪体制の状況について依頼が出た。よろしく願います。ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

では当委員会からは2点について所管事務調査をしたい。1点目はクマの出没について、2点目は除雪体制について。執行部はどうぞよろしく願います。

2 12月12日(木)の委員会審査日程等について

○川上委員長

産業建設委員会は12月12日木曜日の10時から全員協議会室で行う。予定議題はレジュメの下の枠内に記載しているので参照されたい。

最初に陳情審査、採決を行い、続いて議案の審査、所管事務調査、執行部からの報告事項ほかを行う。陳情の採決の際、採択・不採択等は各委員がしっかりと審査基準に基づいて判断し、反対の場合はその理由を明確に書いていただくようお願いする。

また、委員会で採択した陳情については所管事務調査を含め対応を検討することになる。委員会での対応を協議したい。

では議題1の陳情審査である。当委員会に付託された1件についての審査・採決を行う。付託された陳情について委員会として参考人招致の必要をお諮りしたいが、いかがか。今回は美又の温泉会館について、100万円超の補填をしてほしいとの内容だったと思う。決算状況や経営状況が表示されており、これを見ながらになると思う。委員はいかが思うか。

○牛尾委員

たまたま先日議長室の前で温泉会館の会長に出会って、陳情を出しておくからと言われた。この内容は前からあった、かけ流しのことなのだろうか。

○川上委員長

会館の運営についてである。

○牛尾委員

日帰りの運営についてか。

○川上委員長

年間を通じて百数万円の赤字が出るから、その補填をしてほしいという内容だと思う。

○牛尾委員

これは執行部の判断は聞かなくても良いのだろうが、執行部はどの程度の意向をお持ちか事前に聞いても良いか。

○川上委員長

それはやめておこう。今回は参考人を呼ぶか呼ばないかを決めておきたい。経営状況を見ればかなり見えてくるものがあると思う。約60%以上が賃金だと書いてあるので、そういうことも含めながら。いかがだろうか。良いか。

○佐々木委員

この助成要望は執行部にも来ているのか。

○産業経済部長

うちには来てないように思う。

○佐々木委員

こういう要望書が出てなくても、何かしら下話で経営が難しいといったやり取りはあったのか。

○産業経済部長

金城支所にはあったのかもしれない。その辺は確認していない。

○川上委員長

それについては確認してもらいたい。12日の審査のときには質問するだろう。

○佐々木委員

それも含めて、金城支所にはその場で説明を受けたい。

○産業経済部長

美又温泉会館はもともとかめやさんのものだったものを一旦市の施設とし、またそれを無償で返したという経緯がある。その辺は説明できるようにしておく。

○佐々木委員

10年前の約束など全然見えない話を書いてあるので、その辺も含めて聞きたい。

○牛尾委員

おばあさんの代に市へ無償提供したという話があり、それを約束によってもともの方に返すということなので、そこで運営に赤が出たから支援してくれというのは少しややこしい気がする。複雑な事情がある。金城支所にその流れを詳細に説明してもらわないと頭に入りにくいかもしれない。

○川上委員長

それでは参考人招致はしない。ただし金城支所産業建設課からの詳細な説明を伺いたい。よろしく願います。

続いて議題2から付託議案の審査である。議案第74号の市道路線の認定について、現地確認を行うかどうか審議をお願いする。これについて現地を確認するか、それと

もこれまでどおりとするか。さほど大きな問題ではないと思うが。

○牛尾委員

各自確認すれば良いのでは。開発行為によって廃止・認定ということくらいで地図は詳細に載っているの、個人で見に行く程度で良い。

○川上委員長

では各委員は時間があれば現地を確認するという形でよろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそういう形で、各委員で現地確認していただくようお願いする。説明が要るようなら担当課から説明を聞いてもらいたい。

○都市建設部長

資料はよろしいか。大体起終点を入れて写真を添えた資料を作るのだが。

○川上委員長

それはいつものことなので、ぜひ準備してもらえたらと思う。

○都市建設部長

承知した。

○川上委員長

質問事項があれば担当課に伺うことがあるかもしれない。よろしくお願いします。

続いて議題8、先ほど審議したように2件について資料と説明をお願いします。

議題9は執行部報告事項である。現時点で件数を教えてもらいたい。

○商工労働課長

12日の報告事項は6件と、資料配布のみを1件予定している。

○川上委員長

当日は6件の報告と1件の資料配布のみとのことだった。執行部においては報告事項の背景やポイントをしっかり説明いただくようお願いする。委員は事前に出る資料を熟読し、しっかり質問してもらいたい。

続いての議題はその他である。執行部退席後に市長提出議案の採決を行う。以上が当日議題である。委員及び執行部から質問等はあるか。

(「なし」という声あり)

3 その他

○川上委員長

・[要望書]「主要地方道浜田美都線全線2車線化の促進方についての要望について」

要望書の提出が1件あったのでお知らせする。これは主要地方道浜田美都線全線2車線化の促進の要望である。申合せにより要望はその関係委員会に配付するのみとなっているので、内容については各自確認をお願いします。

最後に執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

ここで執行部は退席されて構わない。

(執行部退席)

4 ぎかいポストに寄せられた意見等への対応協議について

○川上委員長

議会広報広聴委員会より、ぎかいポストに寄せられた意見について各常任委員会で協議し回答を作成するよう依頼があった。協議結果は来年2月1日発行の議会だよりに掲載される。同時に議会広報広聴委員会への提出締切りが12月12日となっているため、本日の委員会で回答内容を協議したい。よろしく願います。

当委員会への意見は2件あった。まずは「浜田市に若い方が住んで働いてくれるような取組をしてほしい。本当に地元から人がいなくなってしまう。地元企業も大事だが働く場所、ジャンルが少ない」という内容について協議いただきたい。何か意見はあるか。今日も当委員会の視察報告に、中心市街地の活性化計画が必要であると同時に加えて、富山市についてもいろいろなことが大切だと言っている、この部分に当てはまるのではないだろうか。何らかの回答が必要かもしれないが。

○牛尾委員

これは、地元企業も大事だが働く場所、ジャンルが少ないというのは要するに、新たな産業を興すといったことを言っているのだろうか。市にもUIターン者向けのスタートアップ資金は結構あるしフォローもある。一通りはそろっている気がする。多分この方が言われるのは、もっと違うジャンルの大手企業を引っ張ってきてそこで働くということで書いておられるのだろうが、すぐにあっというような答弁はできないので委員会で研究させてもらう、とすれば良いのでは。

○川上委員長

強いて言えば、市においてはスタートアップ企業等々に関する助成をある程度されているので、ご希望の内容については委員会で今後とも研究させていただく、くらいだろうか。

○牛尾委員

例えばお店をしたい場合、今はマックス200万円出て家賃補助もある。最近手を挙げる者が少ない。200万円を400万円にしたら手が挙がるかと会議所に聞いてみたら、そういう問題ではないのだと。今はチャレンジして自分が起業する人が少なくなった。新規に起業してもうけるような生き方ではなく、サラリーマンとして報酬があれば家庭を大事にしながら生きていく、そういう価値観の者が増えたから、起業するのはもう金額ではないと専務が言った。時代が変わってニーズが変わって難しくなった。

○川上委員長

金城の波佐で一つ企業がスタートする。これは若者二人くらいで始める。こういう事例がたくさん出てくれば良いと思うが、先ほど牛尾委員が言われたようになかなか難しいことだと思う。これについては当委員会で今後とも検討という方向で回答させていただければと思う。よろしいか。

○大谷委員

方向はそれでよろしいかと思う。ただ検討するに当たって発言者はいわゆる全国チェーン関係のことを言われるのか、あるいは製造関係のことを言われるのか、そのあたりは今後の検討かとは思いますが、全国チェーンの場合はあまり雇用として大きなものは少ないのではないかと。製造関係であれば雇用はそこそこあると思うが、現状からするとスペースがなかなか厳しい。浜田の現状も踏まえながら、その中でも改善に向けて必要であれば対応したいが、その辺も含めながら先ほど委員長がまとめた方向でよろしいかと思う。

○村木委員

先ほどの方向性で良いと思うが、今回視察をまとめるに当たりはまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）でも関連した話が出た。伴走型のサポート云々など、改めて視察がすごく良い勉強になった。視察先のことをうたってもらえればと思う。

○佐々木委員

幅広く要望が組み込まれた内容だと思う。前半は若者が住んで働いてくれる取組をしてほしい。総務文教委員会でも若者政策を取り上げたり、若者が県外からどんどん来てくれたりするように実際に取り組んでもいる。その辺の事業名を挙げながら、その上で委員長が言われたことも今後の方向性として当委員会でもやるといった答え方でどうだろうか。何もやってないわけではなく浜田市として率先してやっていることも紹介しながら。所管としては少し外れるかもしれないが。

○川上委員長

確かに所管は外れるかもしれないが、当市は中間支援組織にも支援している。

○牛尾委員

ただ、起業という観点から見れば当委員会の所管だろう。市民一日議会の三橋氏の質問をまとめようとした際にいろいろな資料を集めたのだが、いろいろなメニューがある。例えば県立大学生を対象とした10万円給付、コンテストや共同研究などいろいろなメニューがある。そういうものがあることが伝わってない。おそらく学内メールで皆に通知されているのだろうが。そういった情報が総合的に見られるプラットフォームが必要なのだろうと思った。伝わってないことが一番の問題点なのだろう。

空き店舗を持っている人がいる、新規創業した人がいる、間に入ったコーディネーターがやるというのが非常に良いサンプルになった。あのようなことが必要なのだろう。双方をつなぐ人。そういうところを方向を決めて、的を絞って議論をしないといけない。

○川上委員長

視察先のことになるかと思う。中間支援組織がしっかりしていた。浜田にも必要である。

先ほども申し上げたが、当委員会としては検討にも乗せるが先般の視察も含めながら、しっかり見えやすいようにしてあげることが必要と考える。

○小川委員

これの思いは、若い人が就職できるようなある程度規模の大きい安定したサラリーマンとして働けるような職場というイメージがあるように感じる。久保田市長に限らず今までの歴代市長も企業誘致には力を入れてこられたが、それがなかなか難しかった背景、例えば高速道路や土地の都合などいろいろあったのではないかと思う。大企業に来てもらいたいのが来てもらえない、結果的には益田や江津に雇用の場が生まれているが浜田はなかなか進んでない。そういう経緯を伝えたほうが良いように感じる。益田にも江津にもあって浜田にもそういう企業を誘致するというのは現実的にはどうかということも含めて、いろいろな課題があることはきちんと伝える必要がある。これも市民と話していると結構出るテーマである。松江のほうは無料のバイパスなのに浜田から江津は無料にならないといったことなども関連するように思う。

○牛尾委員

最後の誘致企業はデルタシーアンドエスである。当初150人で全員女性だった。ところが集まらないので四大卒業の子を入れていたが、単純労働なので無理だった。単純労働型企業をいくら引っ張ってもマッチングしない。もっと創造的な仕事をしたい人が多いと思う。本当に対応していこうと思うと非常にハードルが高い。

会議所が言うには、江津にあれば通勤範囲である。高い浜田で無理に用意せずとも交通の便さえ良ければ良いではないかと。このエリア内で分担してやれば良いという考え方が今は多い。

○川上委員長

皆の意見をたくさん聞いたので、それらを含めてまとめさせてもらって12日に提示したい。

続いて、「地元企業に利が行くような共通券にしてほしい」という意見については、これまでも地元企業になるべく落としていただく形で執行部はかなり改良されていると思う。これについてはどうだろうか。

○牛尾委員

現行そういう意見に沿って出すにしても地元で使えるような券と共通券とにしている。現行そういう流れでやっているという回答で良いのでは。逆に地元で使える店が少ないから何とかしてくれというクレームがあるくらいで。

○川上委員長

このことに関しては、現行その方向で実施しているのでぜひご利用を、ということくらいでよろしいか。

(「はい」という声あり)

5 はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて

○川上委員長

先般皆にはお願いしたが、議会広報広聴委員会から市民一日議会での発言内容について各常任委員会で協議し回答を作成するよう依頼があった。回答は12月13日となっている。できれば本日中または12日の委員会において回答を出したいのでよろしく

願います。当委員会に関係するものとしてはすでにお知らせしているとおり「空きビル・空き地などの活用について」と「日脚・長浜地区イラストMAPづくりの提案について」「若者が輝ける社会を作るために～学生起業家を育てる～」である。

まず空きビル・空き地などの活用についてから協議したい。これについてはどのような回答をすればよろしいか。

○牛尾委員

今は駅周辺にしてもスクラップアンドビルドで古い建物をどんどん壊している。かねてからいろいろな企業が出たいと言っているのも、そういう流れになっているのだと思う。例えば岩多屋は一つの建物に500万円出ている。補助金も若干ある。朝日町などは逆に空き地が増えすぎて、次どうなるのだろうと心配する。人口は縮んできているので家が何軒かなくなったからといって、そこへ新しいものがすぐ出てくるような時代ではない。実態をきちんと伝えるのが良いのではないかと思う。有効利用は結構している。必要な面積以上に空き地が過剰に出現しつつあるのが今で、そういう空き地を埋めるのは違う戦略がないとなかなか難しい。上下水道の問題もあるが、なるべく周辺に家を建てるよりも中心市街地に寄ってきてもらって、将来的な社会資源コストを下げるようにしていかないと。ぱっと見て、ただ活用と言っても難しいと思う。

○川上委員長

今の話でいくと、現時点で有効利用はされていると理解している。人口減少と社会情勢を踏まえて、今後有効利用が考えられれば検討することになると思う、くらいの回答か。

○小川委員

視察先でも中心市街地にマンションや一戸建てを建てるのに補助をやりながら誘導している。浜田市の都市計画の中にそういうビジョンが盛り込まれているかが一つのポイントだろうし、もう一つ、ここにこういうものが来てほしいという若い人たちの思いがあっても形になるような場がない。岩多屋の跡地にはこういうものがあってほしいという希望は、特に大学生を含めてあるにはある。しかしそれが一つの形になっていくためには何が必要かという意味では、行政の駅周辺活性化計画との兼ね合いがないとなかなか具体化しない。結局若者にとって魅力のないまちになってしまう。若い人たちのアイデアを少しでも形にできるよう、行政でも具体的に進められるような一体感のあるような形で、市民でまち周辺のにぎわいをつくっていけるように。市民会議的なものを検討してはどうかということが言いたいだけなのだろう。なかなか皆の賛同を得られないのだと思う。仕組みづくりと併せて検討する必要があると思った。

○川上委員長

今回の視察でも、やはり市民参加が大きく出ていた。今言われたことを考えると、今後浜田市は中心市街地についてまだ計画を持たない。しかし間もなく立地適正化計画の策定が行われる。二つの計画を立てるに当たってこういうことも含めてやってい

ただければと思う。そういうことを含めて書いていきたいと思うが、よろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそのようにさせていただく。続いて5番目の日脚・長浜地区イラストMAPづくりの提案について。これについてはどのような回答をすればよろしいか。確かにできないことではないが、これを我々委員会として取り上げる必要があるかどうかだけなのだが。

○牛尾委員

彼女がIターンしてきて発表されたことは貴重な提言だと思うが、市内地図をイラストMAPで描いたからといって、イラストレーターという彼女の職種から見たら一つの提案だと思うが、全市的にそれをしたからといってどうなのだろうかというのはなかなか難しい。例えば観光地の飛騨高山などに行くと面白おかしく観光地をつなぐようなイラストMAPができているのだが、お金を掛けて作るのはどうなのだろう。今まで大学にたくさん補助金を出していろいろな業界のMAPができていますが、それが現在生きているかといえばあまり生きてない。都度補助金を出して作ったが、それだけで終わってしまうことがほとんどである。

○川上委員長

確かに、旭・金城・弥栄・三隅地区はイラスト的なMAPを持っておられるのではないか。

○牛尾委員

多分皆ある。

○川上委員長

浜田地区全体ではなく浜田の部分的なMAPがないから作ろうという考えではないかと思う。それがどうこうではないのだが、こういうことはこれまでも課題解決という扱いでこれまでも地区まちづくり推進委員会などでやっていた。委員会としてこれをぜひともという形にする必要があるかどうかは分からない。MAPを作ると観光になるとか、産業の創出になるとか、会社へのMAPにしてもらって雇用創出ができるとか、どうなるかいまいち良く分からない。我々委員会としてどう回答するかだけなのだが。

○小川委員

産業建設委員会に振られたから検討しなければいけなかったのだが、私は基本的には、こういうアイデアを持っている方がおられることを観光交流課や教育委員会へ情報共有すれば済むのではないかという気持ちがあった。担当課から見てこれが使えるか使えないかもあるし、それに予算を掛けるかということもある。

○川上委員長

当委員会としては、こういうご提案があったことに関しては受け止めて、今後機会があれば。

○牛尾委員

貴重なご意見として受け止める、で良いではないか。

○川上委員長

実際そうである。

○牛尾委員

市民一日議会もぎかいポストもそうだが、5万分の1の提案なので、それをいちいち熱心に聞いて何とかしなければいけないというのは少し違うと思う。当委員会でも峻別していかないと、来たもの全て聞いていたら大事である。

○川上委員長

貴重な意見として受け止めていくという回答になるかと思う。

○田畑副委員長

強いて言えば、まちづくり委員会に発信はしておく、くらい言っておかないと。産業建設委員会がまちづくり委員会に話をする権限は何もない。

○川上委員長

先ほど言われたように、簡単かもしれないが一文を付けて回答すれば良いと思う。よろしく願います。

最後に8番目の「若者が輝ける社会を作るために～学生起業家を育てる～」。これについては先ほどのぎかいポストの件ともつながると思う。したがってあれを使いながら回答して良いか。

(「はい」という声あり)

ではここで聞いた皆の意見を少し集約して回答させていただきたい。

○牛尾委員

市民一日議会の11番の件については12月定例会議でできなかったもので、3月定例会議で取り上げることを相手方に回答している。

○川上委員長

できれば市民一日議会に出た意見も使いながら、個人一般質問をやっていただければと思う。

議題は以上となるが、委員からほかに何かあるか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、以上で産業建設委員会を終了する。

[11時 51分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員会委員長 川上 幾雄